

3 「市長と語る会」における区名関連質疑応答

(1) ロマン性のある区名をつけて欲しい 坂井輪地区（10月9日）

区名についてですが、古い考え方では、どうしても地名を残したいという考え方がありますが、一方では東西南北にすればいいじゃないかというような考えがあると思います。区名でその地域が分かるということも大切ですが、旧来の名前を、例えば坂井輪という名前を残したりすると、ここの周辺部の人たちが良しとするかは、はなはだ疑問なのです。新潟政令市がロマンに満ちた、未来に発展する都市を目指すとするれば、やはり区名はロマン性のあるものが必要ではないかなという感じがするわけです。例えば、新津であれば秋葉区とか、絶対秋葉山が崩れてなくなったなんてありえないわけだから、あるいは小須戸が入るとすれば、花園区という区名とか、やはりロマン性を持った名前につけて欲しいと思います。ロマン性がある名前、例えば3区であれば、柳都とかね、柳都区、今りゅーとびあなんとかなんて言っていますよね。2区であれば湊区とか、区の将来ビジョンと区名が一致するように決めていただきたい。

(2) 区名に旧市町村をつけることを尊重してほしい 新津地区(10月29日)

区制が始まる時の区名について、ひとつお願いであります。区名について何か私の聞くところによると、現在ある市町村名は使わないということで何か話が進んでいるかと思うのですが、地名の原点になっています「大日本地名辞書」がいうところの最初の書き出しにも、『地名は土地に固着し、永久の資性を帯ぶる。』ということで書き出しがされてありますので、現在ある地名を区の名前としてそのまま使ってもいいというかたちで、区名の選定を進めていただきたいと思います。特にこの「大日本地名辞書」の作者でもある吉田東伍博士という方が、最後に『ふるさとの地名を無くすことはふるさを失うことである』、ということで仕事を締めくくっていらっしゃいますが、ちなみにこの「大日本地名辞書」を明治20年に作られた吉田東伍博士は当新津地区へお嬢さんに来られて吉田という姓になられております。そういう大先輩がいる地区ということも踏まえていただきまして、是非新潟市すべての区の名前については慎重な審議をお願いしたいと思いますが、よろしく申し上げます。

(3) 新津の地名を尊重してほしい

区割りについてですが、これは今日小須戸の方、大勢おられますが、またそこで喧嘩することのないように、とにかくなぜ新津が反対したかということ、やっぱり新津の名前が残らないということが一因でございます。商工会議所のひとりとして、今日小須戸の商工会の方もおられますから、これはまあ若い人たちというか、私たちのせがれ同士、あるいはまた小須戸の若い人、そこで話し合いをまずしようという動きになっていると思いますので、とにかく新津と小須戸は仲良くしていきたいんですよ。ただ区割りについて、なんと言うか、応援公約みたいの、新津は残すというニュアンスで私ども感じておったのですけれども、これはやっぱり今新津と小須戸の方、五泉と村松みたいに争いをして五泉を残すとか、そういうことはしたくないんですよ。新津、小須戸、これは何とか、小須戸の方、異論があると思いますけれども、何かこうやはり地名というか、そういうことにこだわるひとりなんですけれども。ひとつその辺、今日お答えはいただかなくても良いですが、そういう発言もあったということだけ、ひとつ頭においていただきたいと思います。

(4) 8区の区名に西を使いたい 西川地区(11月3日)

区名についてはですね、私ども西蒲地区だったんですが、西という字を使いたいなという具合に思っているところがあるわけですが、すでに内野の方では西支所とか西というのを使っていますと競合する場合がありますよね。その辺で西の文字を使う優位性というようなものを考えるとですね、名前の場合に西という字を一文字入れたいというような場合のことも考えますと、その辺がどうなるのかなというような。西という意味がですね、今まで新潟市ですと西というのが内野地区だというように、思っているわけですから、わしら西蒲で西という文字が馴染んでいるわけでございますし、その辺がどういう具合になるのかなという具合も含めてですね、市長さんの考えをお聞きいたしたいと思います。よろしくお願いいたします。